

にちなん中国山地林業アカデミーの皆さんの現地実習を受け入れました。

【岡山森林管理署】

岡山森林管理署では、令和8年2月10日（火）、にちなん中国山地林業アカデミー（鳥取県日野郡日南町、以下「アカデミー」という。）から9名の方を受け入れて現地実習を行いました。

この取り組みはアカデミーのカリキュラムの一環であるニホンジカ等の鳥獣被害に関して、防除等に取り組んでいる現場を体感して学ぶ場として、令和5年度から行っているものです。

午前中は、当署会議室にて署長の挨拶の後、鳥獣被害対策を題材にニホンジカ等の被害状況や被害防止対策の取り組みについて座学を行いました。



山崎署長の挨拶



座学を受けるアカデミーの生徒

午後からは、^{だいとやま}大戸山国有林（岡山県久米郡美咲町）に移動し現地実習を行いました。

まずは、植栽地に設置した防護柵を視察しました。防護柵の設置費用は高額なため、支柱の代わりに立木を利用した方法や安価なアニマルネットを使用した造林の低コスト化の取り組みについて説明を行いました。

アカデミーの皆さんは、熱心に説明を聞き、防護柵に触れ写真撮影をしていました。また、設置条件に適した防護柵の種類や点検・修繕の頻度など積極的に質問し理解を深めていました。

その後は、シカ罠（小林式誘引捕獲法）設置実習を行いました。

アカデミーの生徒はカリキュラムにおいて狩猟免許を取得しているものの、実際に罠を設置するのは初めての方が多く、実習では指導したとおりに設置するも作動しないなど苦戦している場面もありましたが、試行錯誤し楽しみながら取り組んでいました。



実際に設置されている防護柵の見学



職員によるシカ罠（小林式誘引捕獲法）設置実演

岡山森林管理署では、引き続き現地実習の受け入れを行い、林業大学校等の運営に貢献する活動を進めます。アカデミーの皆さんの今後のご活躍を祈念しています。

請負事業体等連絡協議会を開催しました。

【広島北部森林管理署】

広島北部森林管理署では、令和8年1月23日（金）、令和7年度請負事業体等連絡協議会を開催しました。（請負事業体9社10名参加）

第一部では、三次労働基準監督署及び林業・木材製造業労働災害防止協会広島県支部から、労働安全衛生法等の改正や労働災害防止推進計画の取組、林業における労働災害件数の推移や傾向、災害の特徴などについて、林業の現場における災害防止に向けての安全指導を受けました。



第一部での安全指導の様子

続いて第二部では、当署から造林・素材生産事業の総合評価の評価項目や競争参加資格確認申請様式の改正について説明し、造林及び素材生産の発注見通し等により情報提供を行いました。

加えて、最近の大規模な林野火災の発生を契機として、自治体等が運用する林野火災注意報・警報などの新たな取組について情報提供しました。

また、請負事業体等から、立木販売における条件整備、素材生産から造林作業の一貫請負、下刈作業に関しての要望などがあり、有意義な意見交換を行うことができました。



第二部での意見交換

広島北部森林管理署では、引き続き関係機関との連携・協力を進めるとともに本協議会での意見を参考に、安全第一に国有林野事業を進めてまいります。



森林のギャラリー（局庁舎1階）



【技術普及課】

○ギャラリーの展示内容は下記の局ホームページでお知らせしています。

ホーム＞報道・広報＞イベント情報＞森林（もり）のギャラリー

<https://www.rinya.maff.go.jp/kinki/policy/business/sitasimou/gallery/index.html>



【治山課】

○第2回 近畿中国森林管理局 緑の守り手認定事業者を公表しました。

詳しくは下記のホームページをご覧ください。

ホーム＞報道・広報＞緑の守り手認定事業者制度について＞緑の守り手認定申請について＞第2回 緑の守り手認定事業者制度＞第2回 緑の守り手認定事業者の公表について

https://www.rinya.maff.go.jp/kinki/seibi/02_mamorite_kouhyou.html



【技術普及課】

○「水都おおさか森林（もり）の市2026」

令和8年10月25日（日）に開催します！

詳しくは下記のホームページをご覧ください。

ホーム＞報道・広報＞イベント情報＞水都おおさか森林（もり）の市

<https://www.rinya.maff.go.jp/kinki/koho/event/morinoichi/index.html>

